

※受理年月日	年 月 日
※受理番号	
※備考	

変更届出書
(変更前の変更届出書)

令和7年7月24日

徳島県知事 後藤田 正純 様

名 称 新日本橋通商株式会社
代表者 代表取締役 橋爪 栄
住 所 東京都中央区新川二丁目27番1号

名 称 株式会社ワークマン
代表者 代表取締役 小濱 英之
住 所 群馬県伊勢崎市柴町1732

大規模小売店舗立地法第6条第2項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

- 1 大規模小売店舗の名称及び所在地
名 称 イオンタウン上板
所在地 徳島県板野郡上板町椎本字中ノ内3
- 2 変更しようとする事項
 - (1) 大規模小売店舗の施設の配置に関する事項
 - ① 駐輪場の位置及び収容台数
(変更前)
位 置 図面3-1のとおり
収容台数 別記2(変更前)のとおり

(変更後)
位 置 図面3-2のとおり
収容台数 別記2(変更後)のとおり
 - ② 荷さばき施設の位置及び面積
(変更前)
位 置 図面3-1のとおり
面 積 別記3(変更前)のとおり

(変更後)
位 置 図面3-2のとおり
面 積 別記3(変更後)のとおり
 - ③ 廃棄物等の保管施設の位置及び容量
(変更前)
位 置 図面3-1のとおり
容 量 別記4(変更前)のとおり

(変更後)
位 置 図面3-2のとおり
容 量 別記4(変更後)のとおり

(2) 大規模小売店舗の施設の運営方法に関する事項

① 荷さばき施設において荷さばきを行うことができる時間帯

(変更前)

荷さばき施設	利用可能時間帯
荷さばき施設	午前 6 時 00 分～午後 9 時 00 分

(変更後)

荷さばき施設	利用可能時間帯
荷さばき施設①	午前 6 時 00 分～午後 9 時 00 分
荷さばき施設②	
荷さばき施設③	午前 0 時 00 分～翌午前 0 時 00 分

3 変更する年月日

2(1)令和 8 年 2 月 25 日

2(2)令和 8 年 2 月 25 日

4 変更する理由

敷地内への別棟の新設に伴う施設配置及び運営方法の変更のため。

別記1 小売業者一覧

小売業者名	代表者氏名	住所	主として販売する物品
株式会社フジ	代表取締役 山口 普	愛媛県松山市宮西 一丁目2番1号	衣料品、食料品、住居、 余暇関連商品
株式会社西松屋チェーン	代表取締役 大村 浩一	兵庫県姫路市飾東町庄 266番地の1号	ベビー・子供・マタニティ ー衣料、育児・服飾雑 貨・その他関連商品
株式会社池田時計店	代表取締役 吉村 俊哉	徳島市新町橋 一丁目11番地	宝飾宝石・時計
株式会社大創産業	代表取締役 矢野 靖二	広島県東広島市西条吉行東 一丁目4番14号	均一雑貨、その他関連 商品
株式会社ワークマン	代表取締役 小濱 英之	群馬県伊勢崎市柴町1732	婦人服・婦人洋品

別記2 駐輪場一覧

(変更前)

名 称	位 置	収容台数
駐輪場1	敷地南側(図面3-1)	45 台
駐輪場2	敷地中央(図面3-1)	45 台
駐輪場3	敷地中央(図面3-1)	45 台
駐輪場4	敷地北側(図面3-1)	20 台
合計		155 台

(変更後)

名 称	位 置	収容台数
駐輪場①	敷地南側(図面3-2)	45 台
駐輪場②	敷地中央(図面3-2)	45 台
駐輪場③	敷地中央(図面3-2)	45 台
駐輪場④	敷地北側(図面3-2)	20 台
駐輪場⑤	敷地南西側(図面3-2)	14 台
合計		169 台

別記3 荷さばき施設一覧

(変更前)

名 称	位 置	面 積	利用可能時間帯
荷さばき施設	敷地南東側(図面3-1)	50 m ²	午前6時00分～午後9時00分
	敷地北側(図面3-1)	80 m ²	
合計		130 m ²	-

(変更後)

名 称	位 置	面 積	利用可能時間帯
荷さばき施設①	敷地南東側(図面3-2)	50 m ²	午前6時00分～午後9時00分
荷さばき施設②	敷地北側(図面3-2)	80 m ²	
荷さばき施設③	敷地南西側(図面3-2)	24 m ²	午前0時00分～翌午前0時00分
合計		154 m ²	-

別記4 廃棄物等の保管施設一覧
(変更前)

名 称	位 置	容 量
廃棄物保管施設①	敷地北側(図面3-1)	9.7 m ³
廃棄物保管施設②	敷地北側(図面3-1)	9.7 m ³
廃棄物保管施設③	敷地東側(図面3-1)	8.7 m ³
廃棄物保管施設④	敷地東側(図面3-1)	8.7 m ³
廃棄物保管施設⑤	敷地南側(図面3-1)	9.7 m ³
廃棄物保管施設⑥	敷地南側(図面3-1)	7.0 m ³
廃棄物保管施設⑦	敷地南側(図面3-1)	7.0 m ³
廃棄物保管施設⑧	敷地南側(図面3-1)	7.0 m ³
合計		67.5 m ³

(変更後)

名 称	位 置	容 量
廃棄物保管施設①	敷地北側(図面3-2)	9.7 m ³
廃棄物保管施設②	敷地北側(図面3-2)	9.7 m ³
廃棄物保管施設③	敷地東側(図面3-2)	8.7 m ³
廃棄物保管施設④	敷地東側(図面3-2)	8.7 m ³
廃棄物保管施設⑤	敷地南側(図面3-2)	9.7 m ³
廃棄物保管施設⑥	敷地南側(図面3-2)	7.0 m ³
廃棄物保管施設⑦	敷地南側(図面3-2)	7.0 m ³
廃棄物保管施設⑧	敷地南側(図面3-2)	7.0 m ³
廃棄物保管施設⑨	敷地南西側(図面3-2)	2.0 m ³
合計		69.5 m ³

【法第6条第2項の届出に係る添付書類(法第5条第2項、省令第4条第1項)】

- 1 法人にあってはその登記簿の謄本、個人にあってはその住民票の写し
 - ・ 省略
- 2 主として販売する物品の種類
 - ・ 別記1(小売業者一覧)のとおり
- 3 建物の位置及びその建物内の小売業を行うため店舗の用に供される部分の配置を示す図面
 - ・ 建物の位置を示す図面
別添 建物配置図及び1階平面図(変更後)(図面3-2)のとおり
 - ・ 店舗部分の配置を示す図面
別添 建物配置図及び1階平面図(変更後)(図面3-2)のとおり
- 4 駐輪場の確保等
 - (1)指針参考値による算出
必要駐輪台数に変更はありません。

- 5 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯
(変更前)

名 称	位 置	時 間 帯	搬出入車両台数	積載重量
荷さばき施設①・②	図面3-1	午前6時00分 ～午後9時00分	54台/日	2t～4t ・4t以上

(変更後)

名 称	位 置	時 間 帯	搬出入車両台数	積載重量
荷さばき施設①～②	図面3-2	午前6時00分 ～午後9時00分	54台/日	2t～4t ・4t以上
荷さばき施設③	図面3-2	午前0時00分 ～翌午前0時00分	1台/日	2t～4t

- 6 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼働時間及び位置を示す図面

音源名称	型番	基準距離 騒音レベル [dB]	根拠	図面名称	稼働時間	
空調機室外機 01	SZRC160BY	56.0	メーカー値	騒音源及び予測地点配置図	06:30	22:00
空調機室外機 02	SZRC160BY	56.0	メーカー値	騒音源及び予測地点配置図	06:30	22:00
空調機室外機 03	SZRC160BY	56.0	メーカー値	騒音源及び予測地点配置図	06:30	22:00
空調機室外機 04	SZRC63BYT	47.0	メーカー値	騒音源及び予測地点配置図	06:30	22:00
排気口 01	VD-25ZVX6	51.0	メーカー値	騒音源及び予測地点配置図	06:30	22:00
排気口 02	VD-25ZVX6	51.0	メーカー値	騒音源及び予測地点配置図	06:30	22:00
排気口 03	VD-25ZVX6	51.0	メーカー値	騒音源及び予測地点配置図	06:30	22:00
排気口 04	VD-15Z13	29.5	メーカー値	騒音源及び予測地点配置図	06:30	22:00
排気口 05	VD-13Z13	29.0	メーカー値	騒音源及び予測地点配置図	06:30	22:00
排気口 06	VD-25ZVX6	51.0	メーカー値	騒音源及び予測地点配置図	00:00	24:00

※設備機器騒音値は、メーカーより発行されている機器カタログに示された騒音値が、自由空間(無響音室)での測定であるため反射を考慮し、カタログの数値に3dBを加算して予測しました。

7 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

① 昼間の等価騒音レベルの予測

予測地点	高さ	地域の類型	前回届出時の等価騒音レベル	今回の変更に係る等価騒音レベル	前回と今回の等価騒音レベルの合成値	環境基準
B 地点	1.2m	B 類型	33.3dB	36.5dB	38.2dB	55dB

② 夜間の等価騒音レベルの予測

予測地点	高さ	地域の類型	前回届出時の等価騒音レベル	今回の変更に係る等価騒音レベル	前回と今回の等価騒音レベルの合成値	環境基準
B 地点	1.2m	B 類型	26.0dB	24.6dB	28.4dB	45dB

<評価>

全ての予測地点において、昼間及び夜間の等価騒音レベルは環境基準を満たします。
従って、周辺の生活環境に与える影響は軽微であると考えます。

※ 騒音発生源、予測地点及び計算過程等の詳細については、別添「大規模小売店舗立地法手続きに係る騒音予測」を参照ください。

8 夜間において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠

予測地点	高さ	区域の区分	騒音レベル	規制基準
b地点	1.2m	第3種区域	87.5dB	55dB

予測地点bにおいて、騒音レベルの最大値は規制基準を上回ります。
そこで、保全対象側(直近住居外壁)において予測いたしました。

【保全対象側(直近住居外壁)】

予測地点	高さ	区域の区分	騒音レベル	規制基準
b"地点	1.2m	第3種区域	53.5dB	55dB

<評価>

予測地点b"において、騒音レベルの最大値は規制基準を満たします。
従って、周辺の生活環境への影響は軽微であると考えます。

※ 騒音発生源、予測地点及び計算過程等の詳細については、別添「大規模小売店舗立地法手続きに係る騒音予測」を参照ください。

9 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及び
その算出根拠
廃棄物等の排出量等の予測

廃棄物 種 別	S:店舗面積		A:1日当たり 廃棄物排出 量 指針原単位 ×S	B: 平均保 管日数	C: 見かけ比 重(t/m³)	排出 予測量 A×B÷ C
紙製廃棄物等 (再資源可能なものに限る)	6000 m ² 以下	6.00 千m ²	1.248t	1.00 日	0.10	12.98 m ³
	6000 m ² 超	4.56 千m ²	0.050t			
			計 1.298t			
金属製廃棄物 (アルミ製・スチール製の容器等)	6000 m ² 以下	6.00 千m ²	0.042t	1.00 日	0.10	0.56 m ³
	6000 m ² 超	4.56 千m ²	0.014t			
			計 0.056t			
ガラス製廃棄物 (ガラス製の容器)	6000 m ² 以下	6.00 千m ²	0.036t	1.00 日	0.10	0.45 m ³
	6000 m ² 超	4.56 千m ²	0.009t			
			計 0.045t			
プラスチック製廃棄物 (食料容器、食料品トレイ等)	6000 m ² 以下	6.00 千m ²	0.120t	1.00 日	0.01	13.40 m ³
	6000 m ² 超	4.56 千m ²	0.014t			
			計 0.134t			
生ごみ等 (食品廃棄物等)	6000 m ² 以下	6.00 千m ²	1.014t	1.00 日	0.55	2.00 m ³
	6000 m ² 超	4.56 千m ²	0.091t			
			計 1.105t			
その他の 可燃性廃棄物等	6000 m ² 以下	6.00 千m ²	0.570t	1.00 日	0.38	1.50 m ³
	6000 m ² 超	4.56 千m ²				
			計 0.570t			
				合計		30.89 m ³

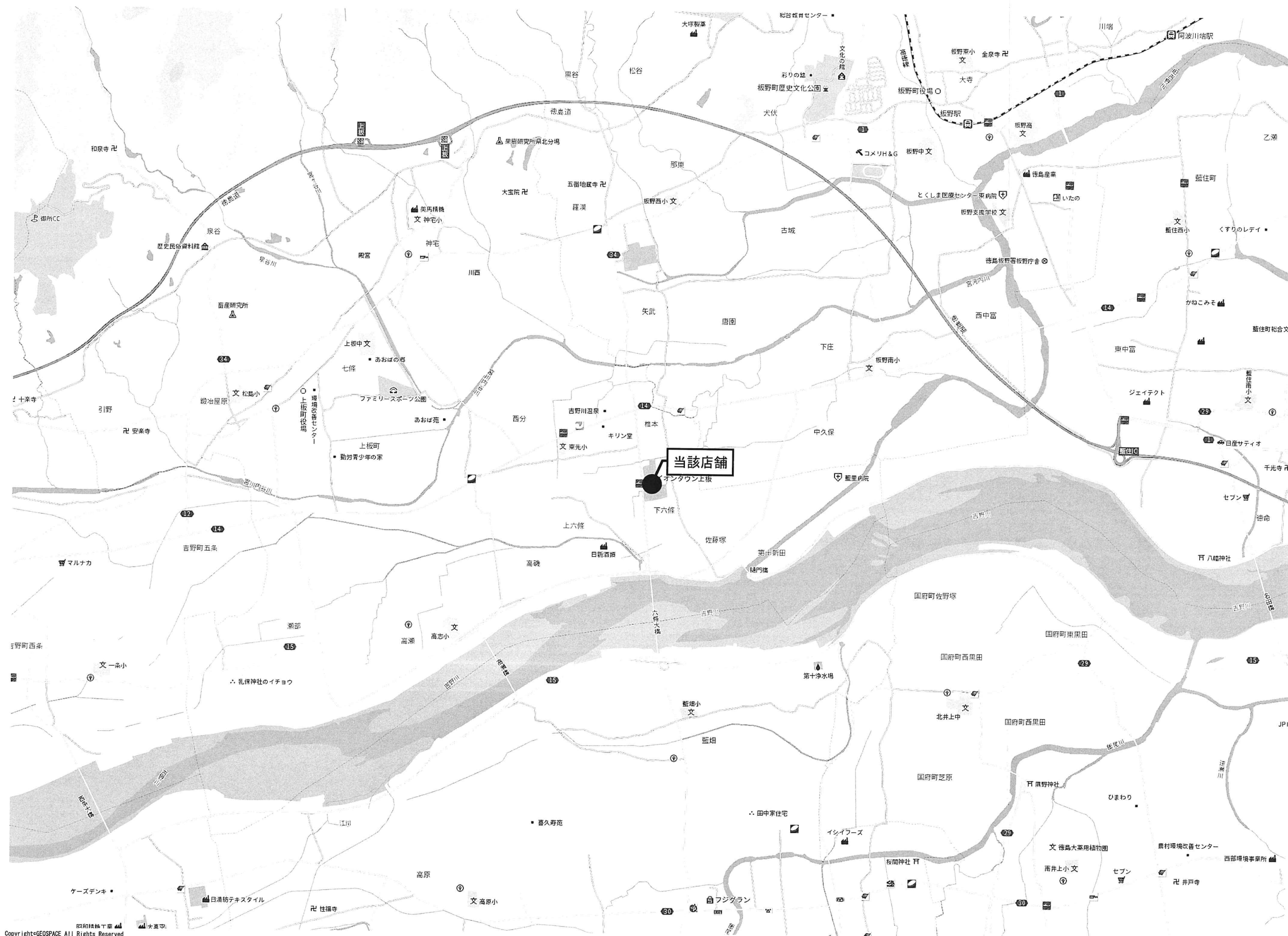
必要保管容量 30.89 m³に対して、廃棄物保管施設を計 69.5 m³(廃棄物保管施設①～⑨)を確保します。

【指針に定める配慮事項】

- 1 廃棄物減量化及びリサイクルについての配慮
 - ・ レジ袋の減量化に努めております。
 - ・ 計画的な商品搬入を行い、容器の減量化及び資源化に努めております。
- 2 廃棄物等の保管について
 - ・ 廃棄物保管施設①～⑧については、屋外設置のため、設置容量以上の廃棄物を保管しないように調整いたします。
 - ・ 廃棄物保管施設⑨については、屋内設置のため、屋内保管としております。
- 3 廃棄物等の運搬や処理について
 - ・ 廃棄物については、許可業者による運搬とし、敷地外にて処理しております。

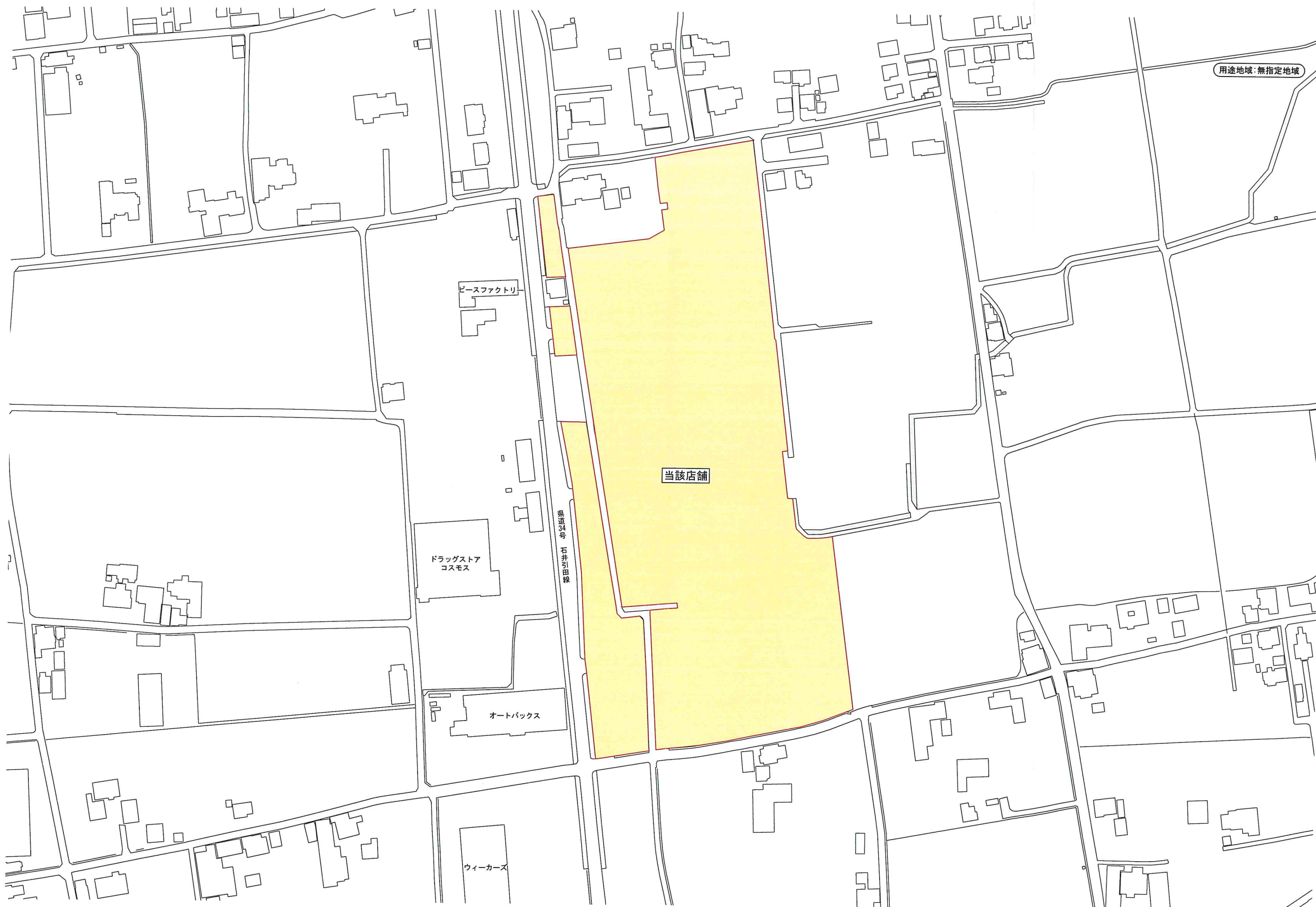
図面 1 広域見取図

SCALE=1:30,000





用途地域：無指定地域

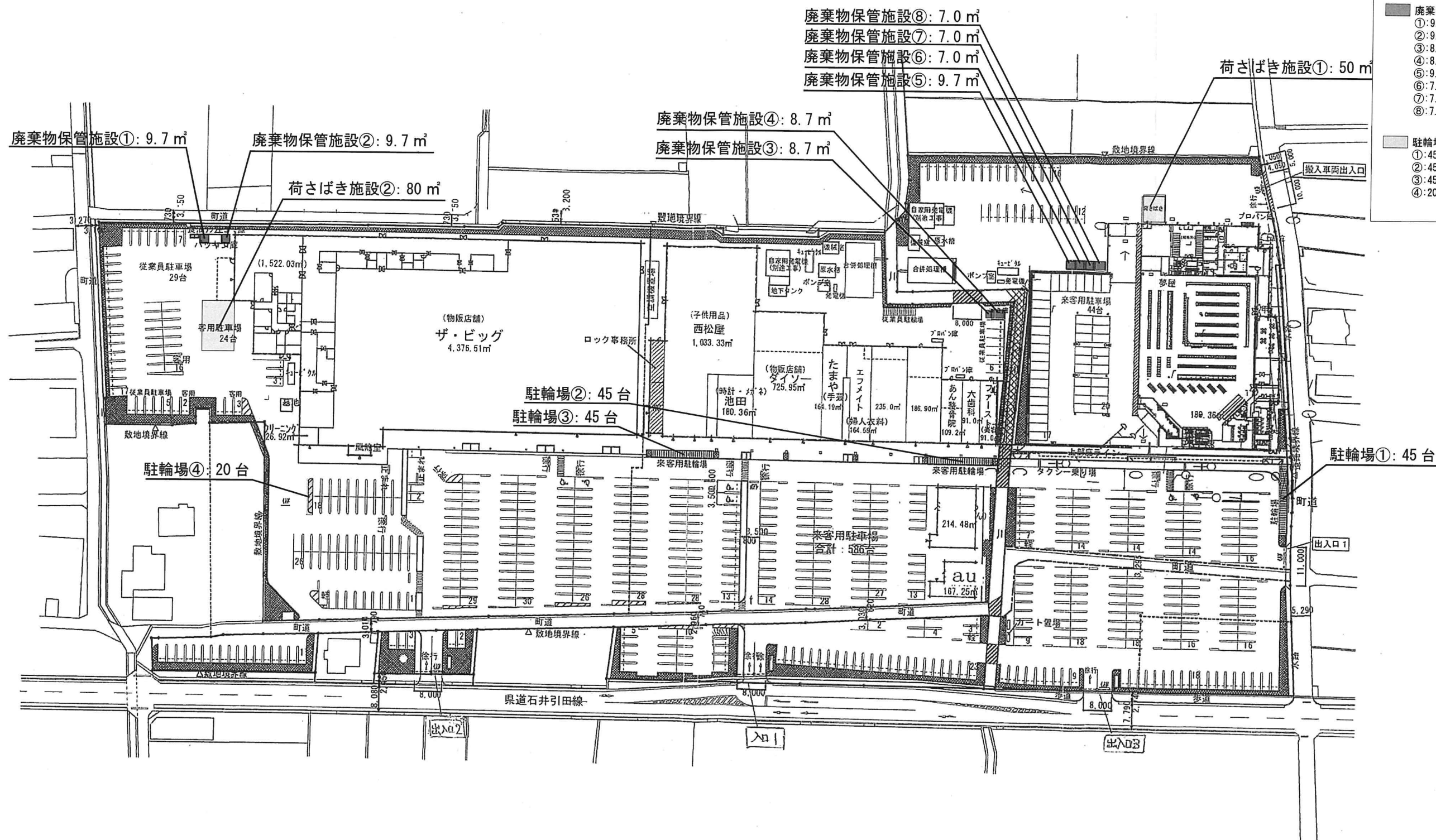


図面 3-1 建物配置図及び1階平面図(変更前)

SCALE=1:1,200

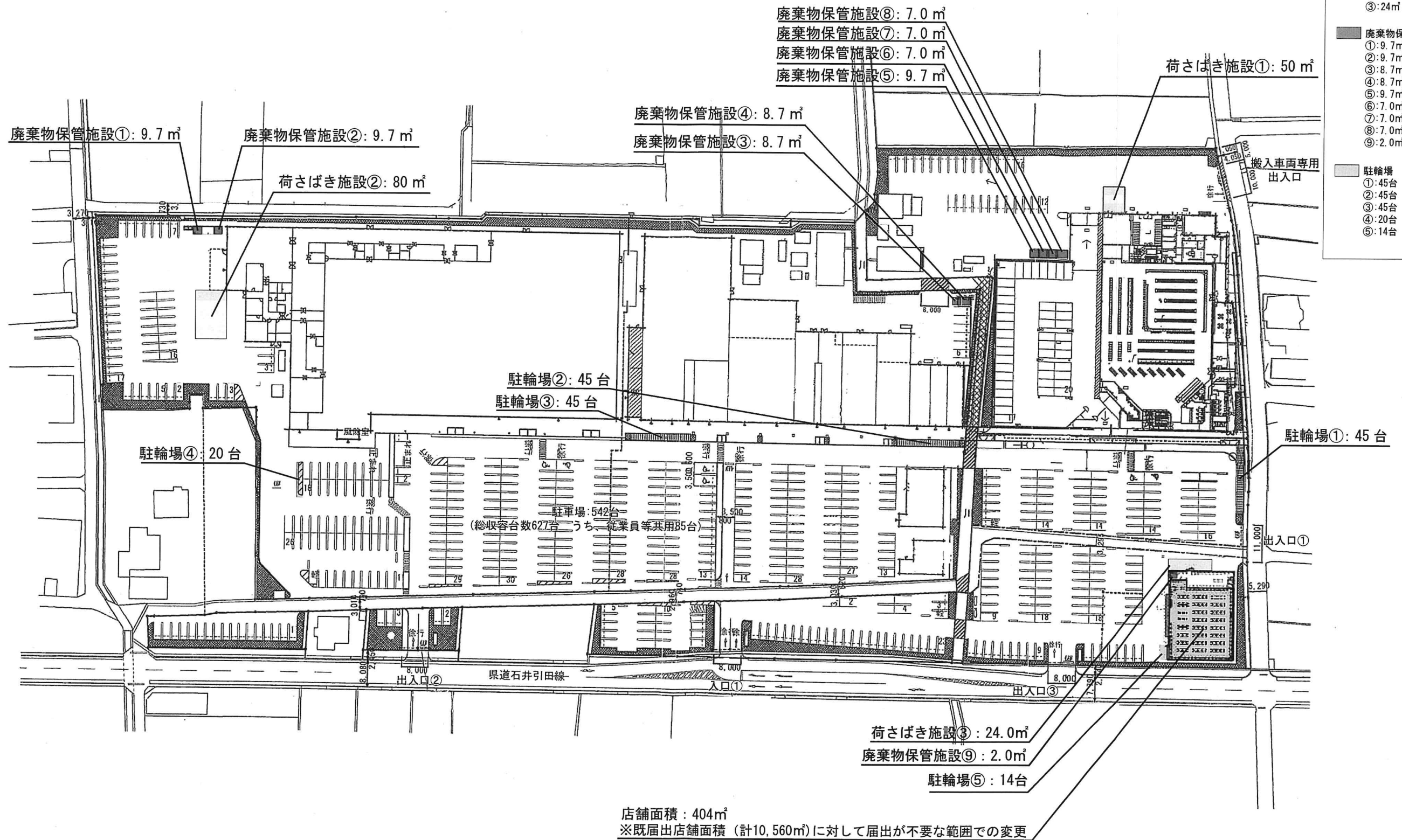


凡 例	
	荷さばき施設
①:50㎡	
②:80㎡	
計 130㎡	
	廃棄物保管施設
①:9.7㎡	
②:9.7㎡	
③:8.7㎡	
④:8.7㎡	
⑤:9.7㎡	
⑥:7.0㎡	
⑦:7.0㎡	
⑧:7.0㎡	
計 67.5㎡	
	駐輪場
①:45台	
②:45台	
③:45台	
④:20台	
計 155台	





凡 例	
	物販店舗
	荷さばき施設
①: 50㎡	
②: 80㎡	
③: 24㎡	
計 154㎡	
	廃棄物保管施設
①: 9.7㎡	
②: 9.7㎡	
③: 8.7㎡	
④: 8.7㎡	
⑤: 9.7㎡	
⑥: 7.0㎡	
⑦: 7.0㎡	
⑧: 7.0㎡	
⑨: 2.0㎡	
計 69.5㎡	
	駐輪場
①: 45台	
②: 45台	
③: 45台	
④: 20台	
⑤: 14台	
計 169台	



大規模小売店舗立地法手続きに係る 騒 音 予 測

イオンタウン上板

<添付資料:大規模小売店舗立地法施行規則 第四条第一項第十号及び第十一号>

目 次

1. 騒音予測の概要	1
1.1 騒音に係る環境基準について.....	1
1.2 騒音規制法における夜間の規制基準について.....	1
1.3 計算方法.....	2
1.3.1 騒音源の A 特性音響パワーレベル計算方法	2
1.3.2 伝搬経路計算方法.....	2
1.3.3 等価騒音レベル計算方法.....	4
1.3.4 騒音レベルの最大値の計算方法.....	5
2. 予測の評価	5
2.1 騒音の総合的な予測・評価	5
2.2 発生する騒音ごとの予測・評価.....	5
3. 予測地点の設定	6
4. 騒音予測のまとめ	7
4.1 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測結果.....	7
4.2 夜間に発生する騒音毎の騒音レベルの最大値の予測結果.....	9
5. 各騒音源のデータ	10
5.1 騒音データ.....	10
① 定常騒音	10
② その他の騒音源.....	10
③ 自動車走行騒音.....	11
5.2 騒音予測における来客車両台数の考え方.....	12
来客車両について.....	12

騒音源及び予測地点配置図

計算過程

1. 騒音予測の概要

1.1 騒音に係る環境基準について

騒音に係る環境基準を表-1 に示します。

表-1 騒音に係る環境基準

地域の類型	基準		当該地域
	昼間	夜間	
AA	50dB 以下	40dB 以下	療養施設、社会福祉施設等が集合して設置される地域等特に静穏を要する地域
A	55dB 以下	45dB 以下	専ら住居の用に供される地域
B	55dB 以下	45dB 以下	主として住居の用に供される地域
C	60dB 以下	50dB 以下	相当数の住居と併せて商業、工業等の用に供される地域

※無指定地域の環境基準における地域の類型は B 類型としました。

1.2 騒音規制法における夜間の規制基準について

徳島県における騒音規制法においての規制地域の指定状況及び基準を表-2 に示します。なお、徳島県内の騒音規制法における夜間の時間帯は、午後 10 時から翌午前 6 時までとなっております。

表-2 徳島県における指定区域

区域	基準	指定区域
第 1 種区域	40dB	第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域
第 2 種区域	45dB	第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域
第 3 種区域	55dB	近隣商業地域、商業地域、準工業地域
第 4 種区域	60dB	工業地域、工業専用地域

※無指定地域の規制基準における区域は第 3 種区域としました。

1.3 計算方法

1.3.1 騒音源の A 特性音響パワーレベル計算方法

① 定常騒音・変動騒音(自動車走行騒音以外)・衝撃騒音

下式より、A 特性音響パワーレベルに相当する値を求めています。

$$L_W = L_P - 10 \log_{10} \left(\frac{Q}{4\pi r^2} \right)$$

L_W : 各騒音源の音響パワーレベル [dB(A)]

L_P : 音圧レベル(実測値・メーカー資料(カタログ・仕様書)等) [dB(A)]

Q : 指向係数 (Q=1:自由空間(無響室等))

(Q=2:半自由空間(半無響室、地上、床面等))

r : 測定距離[m]

自動車走行騒音については、「ASJ RTN-Model 2023」のパワーレベル算出式又は自動車工学に基づくパワーレベル式及び「大規模小売店舗から発生する騒音の手引き」により算出しております。

1.3.2 伝搬経路計算方法

「1.3.1 騒音源の A 特性音響パワーレベル計算方法」で求めた各騒音源及び各仮想点音源から各予測地点へ、距離減衰及び回折減衰した騒音レベル(L_s)を求めます。自動車走行に関する騒音については、等価騒音に関しては走行線の中点、最大値に関しては予測地点にもっとも近い点(最近接点)に仮想点音源を設定しています(※1)。

$$L_s = L_{Pi} - A_{div} - A_{bar}$$

L_s : 各予測地点における騒音レベル [dB(A)]

L_{Pi} : 騒音源の基準距離騒音レベル[dB(A)] (L_W-8)

A_{div} : 距離減衰 [dB](※2)

A_{bar} : 回折減衰 [dB](※3)

※1 来客車両走行線、搬出入車両走行線などの自動車走行線は、ひとつの線を均等な区間に分割し、等価騒音に関してはその区間の中点、最大値に関してはその区間の最近接点に区間を代表する点音源を置きました。

※2 距離減衰[dB]

$$A_{div} = 20 \log_{10} r$$

r : 音源から予測地点までの距離[m]

*平面上(半自由空間)に騒音源があるため、指向係数を Q=2 とし算出しております。

※3 回折減衰[dB]

$$A_{bar} = \begin{pmatrix} 10\log_{10}N+13 & N \geq 1 \\ 5 \pm 9.1 \sinh^{-1}(|N|^{0.485}) & -0.322 \leq N < 1 \\ 0 & N < -0.322 \end{pmatrix}$$

$$N = 2\sigma / \lambda$$

N :フレネル数

σ :行路差[m]

λ :波長[m]

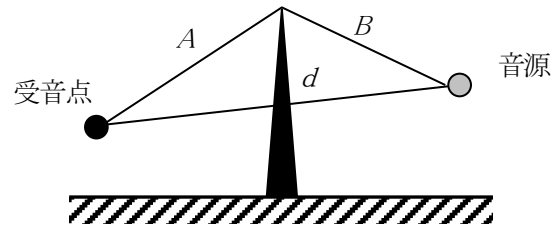


図 遮音壁による音の減衰

なお、自動車走行の回折減衰については、下記の計算式を使用しております。

$$A_{bar} = \begin{pmatrix} 10\log\sigma+20 & 1 \leq \sigma \\ 5 \pm 17\sinh^{-1}(|\sigma|^{0.415}) & -0.053 \leq \sigma < 1 \\ 0 & \sigma < -0.053 \end{pmatrix}$$

すなわち、騒音レベル(L_s)は、A 特性音響パワーレベルから求めることとして

$$L_s = L_w - 8 - 20\log_{10} r - A_{bar}$$

として算出しております。

1.3.3 等価騒音レベル計算方法

1.3.3.1 各時間帯 $L_{Aeq,T}$ 計算

各計算点の騒音レベルを、対象とする時間帯の $L_{Aeq,T}$ となるように計算します。

①設備機器騒音 $L_{Aeq,T}$ 計算

$$L_{Aeq,T} = L_S + 10 \log_{10} \frac{T_i}{T}$$

$L_{Aeq,T}$: 対象とする時間区分の騒音源の等価騒音レベル [dB(A)]

L_S : 各伝搬経路毎の計算点における騒音レベル [dB(A)]

T : 対象とする基準時間帯の時間 [s] (昼間は 57,600[s]、夜間は 28,800[s])

T_i : 対象とする基準時間帯における i 番目の騒音の継続時間 [s]

②荷さばき作業(廃棄物収集作業)騒音 $L_{Aeq,T}$ 計算

$$L_{Aeq,T} = L_S + 10 \log_{10} \frac{aT_w}{T}$$

$L_{Aeq,T}$: 対象とする時間区分の騒音源の等価騒音レベル [dB(A)]

L_S : 各伝搬経路毎の計算点における騒音レベル [dB(A)]

T : 対象とする基準時間帯の時間 [s] (昼間は 57,600[s]、夜間は 28,800[s])

a : 荷さばき作業(廃棄物収集作業)の回数 [回]

T_w : 荷さばき作業(廃棄物収集作業)1 回における平均継続時間(実測値平均値)[s]

③自動車走行騒音 $L_{Aeq,T}$ 計算

$$L_{Aeq,T} = L_S + 10 \log_{10} \frac{a_d T_m}{T}$$

$L_{Aeq,T}$: 対象とする時間区分の騒音源の等価騒音レベル [dB(A)]

L_S : 各伝搬経路毎の計算点における騒音レベル [dB(A)]

T : 対象とする基準時間帯の時間 [s] (昼間は 57,600[s]、夜間は 28,800[s])

a_d : 走行台数 [台]

T_m : 区間における通過時間 [s]

$$T_m = \frac{3600}{1000 \cdot V} \cdot \Delta l \quad \text{但し、} V: \text{走行速度 (20[km/h] と設定) [km/h]}$$

Δl : 区間の長さ[m]

1.3.3.2 等価騒音レベル L_{Aeq} 計算

上記の各音源の等価騒音レベルをエネルギー合成して、店舗から発生する騒音全体の等価騒音レベルを求めます。

$$L_{Aeq} = 10 \log_{10} \left(\sum_{i=1}^n 10^{\frac{L_{Aeq,T,i}}{10}} \right)$$

L_{Aeq} : 店舗から発生する騒音全体の等価騒音レベル [dB(A)]

$L_{Aeq,T,i}$: 対象とする時間区分の各騒音源の等価騒音レベル [dB(A)]

1.3.4 騒音レベルの最大値の計算方法

「1.3.1 騒音源の A 特性音響パワーレベル計算方法」で求めた各騒音源及び各仮想点音源から各予測地点へ、距離減衰及び回折減衰した騒音レベルの最大値を求めます。

$$L_{Amax,i} = L_{Amax,is} - A_{div} - A_{bar}$$

$L_{Amax,i}$: 各予測地点における騒音レベルの最大値 [dB(A)]

$L_{Amax,is}$: 騒音源の基準距離騒音レベルの最大値 [dB(A)] ($L_W - 8$)

A_{div} : 距離減衰 [dB]

A_{bar} : 回折減衰 [dB]

2. 予測の評価

2.1 騒音の総合的な予測・評価

昼間(午前6時から午後10時までの16時間)、夜間(午後10時から翌午前6時までの8時間)における等価騒音レベルを算出しました。

各予測地点(資料【騒音源及び予測地点配置図】)における騒音レベルの予測計算は、下記の通り行いました。

- 1) 当該計画により、新たに発生が予想される騒音源を対象として、個々の騒音源から発生する騒音について「1.3.1 騒音源のA特性音響パワーレベル計算方法」により音響パワーレベルを求める。
- 2) 音響パワーレベルから騒音源の基準距離騒音レベルを求める。
- 3) 騒音源から距離減衰等の影響を考慮して、予測地点における騒音レベルを求める。
- 4) 予測地点での騒音レベルについて、対象とする時間区分における等価騒音レベルを求める。

その他既存設備に関しては、平成13年12月11日の届出に即して実施している騒音予測から、騒音源の変更はなく、周辺の保全対象にも変更はない。従って、4)で求めた全ての等価騒音レベルをエネルギー的に合成し、更に当該予測結果に平成13年12月11日届出の予測結果を合成したものを店舗から発生する騒音全体の等価騒音レベルとする。

2.2 発生する騒音ごとの予測・評価

夜間(午後10時から翌午前6時まで)における騒音レベルの最大値を算出しました。

各予測地点(資料【騒音源及び予測地点配置図】)における騒音レベルの最大値の予測計算は、下記の通り行いました。

- 1) 当該計画において、新たに発生が予想される騒音源を対象として、個々の騒音源から発生する騒音について「1.3.1 騒音源のA特性音響パワーレベル計算方法」により音響パワーレベルを求める。
- 2) 音響パワーレベルから騒音源の基準距離騒音レベルの最大値を求める。
- 3) 騒音源から距離減衰等の影響を考慮して、予測地点における騒音レベルの最大値を求める。

3. 予測地点の設定

下表のように予測地点を設定し、騒音源(室外機、車両走行音等)の設置高さを考慮し、騒音レベルの予測をしています。

予測地点の高さについては、予測地点の対象となっている建物の階層を考慮しております。

表-3 騒音の総合的な予測地点

予測地点	予測高さ(m)	用途地域	地域の類型	環境基準		選定理由
				昼間	夜間	
B	1.2	無指定地域	B 類型	55dB	45dB	前回届出同様、道路を挟んだ隣地の最も影響の受けやすい住居外壁 ※前回届出同様、1 階(1.2m)高さとなりました。

※無指定地域の環境基準における地域の類型は B 類型としました。

表-4 夜間に発生する騒音ごとの予測地点

予測地点	予測高さ(m)	用途地域	区域の区分	規制基準	選定理由
b	1.2	無指定地域	第3種区域	55dB	予測地点 B から近く夜間走行する大型車両走行に最も近い当該店舗の敷地境界線 ※前回届出同様、1 階(1.2m)高さとなりました。

※無指定地域の規制基準における区域は第3種区域としました。

4. 騒音予測のまとめ

4.1 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測結果

店舗から発生することが見込まれる騒音について、昼間(午前6時～午後10時の16時間)と、夜間(午後10時～翌午前6時の8時間)の基準時間帯ごとの全時間帯を通した等価騒音レベルを予測した結果を下表に示します。

表-5 平均的な状況を呈する日における昼間の等価騒音レベルの予測結果

騒音発生源		騒音継続時間 又は 騒音発生回数 ※1	各予測地点における 昼間の等価騒音レベル【dB】
			B地点 高さ1.2m
定常騒音 (固定発生源)	空調機室外機	06:30-22:00	21.6
	排気口	00:00-24:00	16.6
変動騒音 (移動発生源)	来客車両走行	昼222台	22.7
	大型車両走行	昼1台	13.2
	台車平坦走行	－	－
変動騒音 (固定発生源)	廃棄物収集作業	昼1回	33.7
衝撃騒音 (固定発生源)	荷さばき作業	－	－
	台車段差越え	－	－
昼間(午前6時～午後10時) の等価騒音レベル		予測値(dB)	36.5
前回届出時の 昼間(午前6時～午後10時) の等価騒音レベル ※2		予測値(dB)	33.3
等価騒音レベル合成値			38.2
地域の類型			B類型
環境基準(dB)			55
評価			○

※1 「騒音継続時間又は騒音発生回数」の欄については、各音源で継続時間が最長又は発生回数が最多となるものを記載しました。各音源の継続時間又は発生回数についての詳細は、別添資料「平均的な状況を呈する日における等価騒音レベル計算過程」を参照して下さい。

※2 前回届出時:平成13年12月11日付

<評価>

全ての予測地点において、昼間の等価騒音レベルは環境基準を満たします。
従って、周辺の生活環境への影響は軽微であると考えます。

表-6 平均的な状況を呈する日における夜間の等価騒音レベルの予測結果

騒音発生源		騒音継続時間 又は 騒音発生回数 ※1	各予測地点における 夜間の等価騒音レベル【dB】
			B 地点 高さ 1.2m
定常騒音 (固定発生源)	空調機室外機	－	－
	排気口	00:00-24:00	14.5
変動騒音 (移動発生源)	来客車両走行	－	－
	大型車両走行	夜 1 台	16.2
	台車平坦走行	夜 1 回	11.6
変動騒音 (固定発生源)	廃棄物収集作業	－	－
衝撃騒音 (固定発生源)	荷さばき作業	夜 1 回	16.7
	台車段差越え	夜 1 回	16.7
夜間(午後 10 時～翌午前 6 時) の等価騒音レベル		予測値(dB)	24.6
前回届出時の 夜間(午後 10 時～翌午前 6 時) の等価騒音レベル ※2		予測値(dB)	26.0
合成値			28.4
地域の類型			B 類型
環境基準(dB)			45
評価			○

※1 「騒音継続時間又は騒音発生回数」の欄については、各音源で継続時間が最長又は発生回数が最多となるものを記載しました。各音源の継続時間又は発生回数についての詳細は、別添資料「平均的な状況を呈する日における等価騒音レベル計算過程」を参照して下さい。

※2 前回届出時:平成 13 年 12 月 11 日付

<評価>

全ての予測地点において、夜間の等価騒音レベルは環境基準を満たします。
従って、周辺的生活環境への影響は軽微であると考えます。

4.2 夜間に発生する騒音毎の騒音レベルの最大値の予測結果

計画店舗から発生することが見込まれる騒音について、夜間(午後10時～翌午前6時)における騒音レベルの最大値の予測を下表に示します。

表-7 騒音の発生源毎の騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源		騒音継続時間 又は騒音発生回数※	各予測地点における 騒音レベル【dB】
			b 地点 高さ1.2m
定常騒音(固定発生源)	排気口	00:00-24:00	24.6
変動騒音(移動発生源)	大型車両走行	最大値1台	87.5
	台車平坦走行	最大値1台	55.5
衝撃騒音(固定発生源)	荷さばき作業	最大値1回	64.0
	台車段差越え	最大値1回	68.5
騒音の規制基準		区域の区分	第三種区域
		基準(dB)	55
		評価	×

※「騒音継続時間又は騒音発生回数」の欄については、各音源で継続時間が最長又は発生回数が最多となるものを記載しました。各音源の継続時間又は発生回数についての詳細は、別添資料「夜間に発生する騒音毎の騒音レベルの最大値計算過程」を参照して下さい。

予測地点bにおいて、騒音レベルの最大値は規制基準を上回ります。
そこで、保全対象側(直近住居外壁)において予測いたしました。

【保全対象側(直近住居外壁)】

騒音発生源		騒音継続時間 又は騒音発生回数※	各予測地点における 騒音レベル【dB】
			b' 地点 高さ1.2m
定常騒音(固定発生源)	排気口	00:00-24:00	14.5
変動騒音(移動発生源)	大型車両走行	最大値1台	52.9
	台車平坦走行	最大値1台	40.5
衝撃騒音(固定発生源)	荷さばき作業	最大値1回	49.0
	台車段差越え	最大値1回	53.5
騒音の規制基準		区域の区分	第三種区域
		基準(dB)	55
		評価	○

※「騒音継続時間又は騒音発生回数」の欄については、各音源で継続時間が最長又は発生回数が最多となるものを記載しました。各音源の継続時間又は発生回数についての詳細は、別添資料「夜間に発生する騒音毎の騒音レベルの最大値計算過程」を参照して下さい。

<評価>

予測地点b'において、騒音レベルの最大値は規制基準を満たします。
従って、周辺の生活環境への影響は軽微であると考えます。

5. 各騒音源のデータ

5.1 騒音データ

パワーレベルを設定する際の根拠となるデータ。

① 定常騒音

表-8 パワーレベルの根拠となる騒音レベル【dB(A)】

音源名称	型番	基準距離 騒音レベル[dB]	根拠	図面名称	稼働時間	
空調機室外機 01	SZRC160BY	56.0	メーカー値	騒音源及び予測地点配置図	06:30	22:00
空調機室外機 02	SZRC160BY	56.0	メーカー値	騒音源及び予測地点配置図	06:30	22:00
空調機室外機 03	SZRC160BY	56.0	メーカー値	騒音源及び予測地点配置図	06:30	22:00
空調機室外機 04	SZRC63BYT	47.0	メーカー値	騒音源及び予測地点配置図	06:30	22:00
排気口 01	VD-25ZVX6	51.0	メーカー値	騒音源及び予測地点配置図	06:30	22:00
排気口 02	VD-25ZVX6	51.0	メーカー値	騒音源及び予測地点配置図	06:30	22:00
排気口 03	VD-25ZVX6	51.0	メーカー値	騒音源及び予測地点配置図	06:30	22:00
排気口 04	VD-15Z13	29.5	メーカー値	騒音源及び予測地点配置図	06:30	22:00
排気口 05	VD-13Z13	29.0	メーカー値	騒音源及び予測地点配置図	06:30	22:00
排気口 06	VD-25ZVX6	51.0	メーカー値	騒音源及び予測地点配置図	00:00	24:00

※設備機器騒音値は、メーカーより発行されている機器カタログに示された騒音値が、自由空間(無響音室)での測定であるため反射を考慮し、カタログの数値に 3dB を加算して予測しました。

② その他の騒音源

表-9 パワーレベルの根拠となる騒音レベル【dB(A)】

騒音の名称	騒音レベル (dB) [$L_{A,max}$]	音源 高さ	発生時間	根拠	図面名
廃棄物 収集作業	90.0	1.5m	1 台当たり 600 秒	騒音予測 の手引き (廃棄物圧縮時)	騒音源及び 予測地点配置図
荷さばき作業	86.1 [85.5]	1.5m	1 分毎に 1 回 1 秒の荷おろし 平均作業時間:15 分	騒音予測 の手引き (リフト昇降音)	
台車平坦走行	71.0 [77.0]	0.0m	荷さばき作業1台あたり 150 秒 荷さばき車両 1 台につき 1 台の台車使用 荷下ろし1回につき往復×5 秒	騒音予測 の手引き (平坦路走行)	
台車段差越え	83.0 [90.0]	0.0m	荷さばき作業 1 台あたり 30 回 荷さばき車両 1 台につき 1 台の台車使用 荷下ろし1回につき往復	騒音予測 の手引き (段差越え)	

※ 荷さばき車両および廃棄物収集車両のアイドリング音については、作業員に周知するため予測には考慮しておりません。

③ 自動車走行騒音

表-10 パワーレベルの根拠となる騒音レベル【dB(A)】

騒音の名称	パワー レベル (dB)	根拠	図面名
普通車両走行音	82.0	騒音データとして「大規模小売店から発生する騒音予測の手引き」に記載の約82dB(「自動車工学に基づくパワーレベル式」の計算結果)より引用し、予測される普通車両の台数を駐車場内の全ての走行線に該当させております。 走行速度については 20km/h と設定しました。	騒音源及び 予測地点配置図
大型車両走行音 (荷さばき車両) (廃棄物収集車両)	97.1	騒音データとしてASJ RTN-Model 2023の3車種分類の中型車より引用し、予測される走行台数をそれぞれの車両が走行する走行線に該当させております。 走行速度については 10km/h と設定しました。	

※大型車両走行ルート

■荷さばき作業 01(夜 1 台)&廃棄物収集作業 01(昼 1 台)

01→02→03→04→05→06

5.2 騒音予測における来客車両台数の考え方

下記の通り、指針に基づいて車両台数を算出しました。

表-11 普通車両台数の設定

普通車両走行No.	昼間(6:00～22:00)	夜間(22:00～6:00)	夜間(最大値)(22:00～5:00)
001～024	222 台	—	—

① 来客車両について

＜指針の計算式による1日当たりの来台数＞

変更前: $A \times S \times C \div D = (950.000 \times 10.560 \times 0.800) \div 2.048 = 3,957$ 台

変更後: $A \times S \times C \div D = (950.000 \times 10.964 \times 0.800) \div 2.048 = 4,068$ 台

＜騒音予測計算における来台数＞

変更前と変更後の店舗面積に応じて指針に基づく日來台数を算出し、

変更前後の日來台数の差分(111 台/日(変更前:3,957 台/日、変更後:4,068 台/日))を増加台数として設定しました。

駐車場利用可能時間が6時30分～22時00分のため、全台数を昼間としました。

なお、往復を考慮しております。

騒音源及び予測地点配置図

SCALE=1:1200



凡 例

- **B** 等価騒音レベル予測地点
- **b** 最大値騒音(店舗敷地境界)騒音レベル予測地点
- **b''** 最大値騒音(直近住居外壁)騒音レベル予測地点

- 000 来客車両走行
- 001 大型車両走行
- 用途地域境界

- 01 排気口
- 01 空調機室外機

用途地域:無指定地域

田

田

田

住居
2 F
B
b''

住居
2 F

田

田

駐車場

店舗

店舗

店舗

ガソリンスタンド

店舗

店舗

住居
2 F

- ・荷さばき作業01
- ・台車平坦走行01
- ・台車段差越え01
- ・廃棄物収集作業01

座標原点

(0,0)

出典: 基盤地図情報(国土地理院)を編集、加工し作成

イオンタウン上板 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベル計算過程

騒音発生源		騒音継続時間帯 (時～時) 又は騒音発生回数			長さ	高さ 【m】 (GLから)	音響 パワーレベル (Lw)【dB】	基準距離 における 騒音レベル (Lpi)【dB】	根拠	r	Adiv	Abar	Ls	LAeq	LAeq
										予測地点までの 距離【m】	予測地点までの 距離減衰【dB】	予測地点までの 回折減衰【dB】	各予測地点における 騒音レベル【dB】	各予測地点における 屋間の等価騒音レベル【dB】	各予測地点における 夜間の等価騒音レベル【dB】
										B	B	B	B	B	B
										1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
定常騒音	空調機室外機01	06:30-22:00	55,800	0	－	6.5	67.0	59.0	メーカー値	72.6	37.2	－	21.8	21.6	－
	空調機室外機02	06:30-22:00	55,800	0	－	6.5	67.0	59.0	メーカー値	77.9	37.8	－	21.2	21.0	－
	空調機室外機03	06:30-22:00	55,800	0	－	6.5	67.0	59.0	メーカー値	82.1	38.3	－	20.7	20.6	－
	空調機室外機04	06:30-22:00	55,800	0	－	6.0	58.0	50.0	メーカー値	88.7	39.0	－	11.0	10.9	－
	排気口01	06:30-22:00	55,800	0	－	3.6	62.0	54.0	メーカー値	73.3	37.3	－	16.7	16.6	－
	排気口02	06:30-22:00	55,800	0	－	3.6	62.0	54.0	メーカー値	80.1	38.1	－	15.9	15.8	－
	排気口03	06:30-22:00	55,800	0	－	3.6	62.0	54.0	メーカー値	91.8	39.3	－	14.7	14.6	－
	排気口04	06:30-22:00	55,800	0	－	2.4	40.5	32.5	メーカー値	94.5	39.5	－	－7.0	－7.2	－
	排気口05	06:30-22:00	55,800	0	－	2.5	40.0	32.0	メーカー値	95.9	39.6	－	－7.6	－7.8	－
排気口06	00:00-24:00	57,600	28,800	－	3.6	62.0	54.0	メーカー値	94.0	39.5	－	14.5	14.5	14.5	
変動騒音	来客車両走行001	昼222台	251.2	0.0	6.286	0.0	82.0	74.0	騒音手引	61.6	35.8	－	38.2	14.6	－
	来客車両走行002	昼222台	659.3	0.0	16.499	0.0	82.0	74.0	騒音手引	63.5	36.1	－	37.9	18.5	－
	来客車両走行003	昼222台	193.7	0.0	4.846	0.0	82.0	74.0	騒音手引	67.0	36.5	－	37.5	12.7	－
	来客車両走行004	昼222台	432.3	0.0	10.819	0.0	82.0	74.0	騒音手引	70.5	37.0	－	37.0	15.8	－
	来客車両走行005	昼222台	656.7	0.0	16.434	0.0	82.0	74.0	騒音手引	78.2	37.9	－	36.1	16.7	－
	来客車両走行006	昼222台	632.0	0.0	15.816	0.0	82.0	74.0	騒音手引	89.0	39.0	－	35.0	15.4	－
	来客車両走行007	昼222台	630.5	0.0	15.778	0.0	82.0	74.0	騒音手引	76.5	37.7	－	36.3	16.7	－
	来客車両走行008	昼222台	655.1	0.0	16.393	0.0	82.0	74.0	騒音手引	62.6	35.9	－	38.1	18.6	－
	来客車両走行009	昼222台	624.4	0.0	15.626	0.0	82.0	74.0	騒音手引	50.1	34.0	－	40.0	20.4	－
	来客車両走行010	昼222台	657.7	0.0	16.459	0.0	82.0	74.0	騒音手引	40.1	32.1	－	41.9	22.5	－
	来客車両走行011	昼222台	908.1	0.0	22.726	0.0	82.0	74.0	騒音手引	88.7	39.0	－	35.0	17.0	－
	来客車両走行012	昼222台	941.0	0.0	23.549	0.0	82.0	74.0	騒音手引	75.9	37.6	－	36.4	18.5	－
	来客車両走行013	昼222台	975.2	0.0	24.405	0.0	82.0	74.0	騒音手引	64.1	36.1	－	37.9	20.2	－
	来客車両走行014	昼222台	1007.7	0.0	25.219	0.0	82.0	74.0	騒音手引	55.0	34.8	－	39.2	21.6	－
	来客車両走行015	昼222台	1042.1	0.0	26.078	0.0	82.0	74.0	騒音手引	49.2	33.8	－	40.2	22.7	－
	来客車両走行016	昼222台	1152.3	0.0	28.837	0.0	82.0	74.0	騒音手引	104.1	40.3	－	33.7	16.7	－
	来客車両走行017	昼222台	1106.2	0.0	27.682	0.0	82.0	74.0	騒音手引	93.5	39.4	－	34.6	17.4	－
	来客車両走行018	昼222台	1057.7	0.0	26.470	0.0	82.0	74.0	騒音手引	84.3	38.5	－	35.5	18.1	－
	来客車両走行019	昼222台	1026.6	0.0	25.692	0.0	82.0	74.0	騒音手引	79.4	38.0	－	36.0	18.5	－
	来客車両走行020	昼222台	426.0	0.0	10.661	0.0	82.0	74.0	騒音手引	117.7	41.4	－	32.6	11.3	－
	来客車両走行021	昼222台	630.3	0.0	15.774	0.0	82.0	74.0	騒音手引	109.2	40.8	－	33.2	13.6	－
	来客車両走行022	昼222台	654.9	0.0	16.390	0.0	82.0	74.0	騒音手引	99.8	40.0	－	34.0	14.6	－
	来客車両走行023	昼222台	431.2	0.0	10.790	0.0	82.0	74.0	騒音手引	93.4	39.4	－	34.6	13.3	－
	来客車両走行024	昼222台	377.1	0.0	9.436	0.0	82.0	74.0	騒音手引	108.3	40.7	－	33.3	11.5	－
	大型車両走行01	昼1台 夜1台	4.3	4.3	11.847	0.0	97.1	89.1	ASJ	65.6	36.3	－	52.8	11.5	14.5
	大型車両走行02	昼1台 夜1台	4.0	4.0	11.122	0.0	97.1	89.1	ASJ	68.7	36.7	－	52.4	10.8	13.8
	大型車両走行03	昼1台 夜1台	2.9	2.9	7.921	0.0	97.1	89.1	ASJ	70.3	36.9	－	52.2	9.1	12.1
	大型車両走行04	昼1台 夜1台	8.6	8.6	23.770	0.0	97.1	89.1	ASJ	76.0	37.6	－	51.5	13.2	16.2
	大型車両走行05	昼1台 夜1台	6.4	6.4	17.904	0.0	97.1	89.1	ASJ	89.8	39.1	－	50.0	10.5	13.5
	大型車両走行06	昼1台 夜1台	6.4	6.4	17.904	0.0	97.1	89.1	ASJ	104.0	40.3	－	48.8	9.3	12.3
	廃棄物収集作業01	昼1回	600	0	－	1.5	98.0	90.0	騒音手引	67.0	36.5	－	53.5	33.7	－
	台車平坦走行01	夜1回	0	150	－	0.0	79.0	71.0	騒音手引	67.0	36.5	－	34.5	－	11.6
衝撃騒音	荷さばき作業01	夜1回	0	15	－	1.5	94.1	86.1	騒音手引	67.0	36.5	－	49.6	－	16.7
	台車段差越え01	夜1台	0	30	－	0.0	91.0	83.0	騒音手引	67.0	36.5	－	46.5	－	16.7
													前回届出時の等価騒音レベル	36.5	24.6
													合成値	33.3	26.0
													基準	38.2	28.4
														55	45

イオンタウン上板 夜間に発生する騒音毎の騒音レベルの最大値計算過程

騒音発生源		騒音継続時間帯 (時～時) 又は騒音発生回数	長さ	高さ 【m】 (GLから)	音響 パワーレベル (Lw)【dB】	基準距離 における 騒音レベル (Lpi)【dB】	根拠	r	Adiv	Abar	Ls
								予測地点までの 距離【m】	予測地点までの 距離減衰【dB】	予測地点までの 回折減衰【dB】	各予測地点における 騒音レベル【dB】
								b 1.2	b 1.2	b 1.2	b 1.2
定常騒音	排気口06	22:00-05:00	－	3.6	62.0	54.0	メーカー値	29.5	29.4	－	24.6
変動騒音	大型車両走行01	最大値1台	11.847	0.0～0.0	97.1	89.1	ASJ	1.2	1.6	－	87.5
	大型車両走行02	最大値1台	11.122	0.0～0.0	97.1	89.1	ASJ	11.9	21.5	－	67.6
	大型車両走行03	最大値1台	7.921	0.0～0.0	97.1	89.1	ASJ	23.0	27.2	－	61.9
	大型車両走行04	最大値1台	23.770	0.0～0.0	97.1	89.1	ASJ	29.9	29.5	－	59.6
	大型車両走行05	最大値1台	17.904	0.0～0.0	97.1	89.1	ASJ	53.3	34.5	－	54.6
	大型車両走行06	最大値1台	17.904	0.0～0.0	97.1	89.1	ASJ	54.6	34.7	－	54.4
	台車平坦走行01	最大値1回	－	0.0	85.0	77.0	騒音手引	11.9	21.5	－	55.5
	荷さばき作業01	最大値1回	－	1.5	93.5	85.5	騒音手引	11.9	21.5	－	64.0
	台車段差越え01	最大値1台	－	0.0	98.0	90.0	騒音手引	11.9	21.5	－	68.5
	基準									55	

